

道路部

- 道路管理課
- 道路建設課
- 街路課

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01058	街区基準点管理費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-999	その他	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 道路台帳整備に必要な測量における基準点の管理に係る経費である。</p> <p>(目標・計画) 一度確定した基準点については、座標をデータ管理しているため、指標は設定していません。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		0	0	10,185	0
人	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		0	0	0	0
総コスト(A+B)		0	0	10,185	0
指 標	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		公共基準点管理費へ流用		東日本大震災にて変動した基準点の座標を復元測量を行う	

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	休止・廃止
-----------	-------

1次評価コメント	平成25年度において、復元測量を実施し基準点の座標をデータ管理しているため、事業は休止となります。
----------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01059	道路管理費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	対象外	必需性	対象外
事業概要	<p>(事業内容) 道路管理に係る諸経費である。 ・道路照明における電気料 ・駅前広場及び管理用地等における水道料 ・保有している車両の車検、定期点検及び修繕にかかる費用 ・道路管理瑕疵における保険料 ・施設管理における清掃及び保守等における業務委託料 など (目標・計画) 道路管理に係る各施設の光熱水費、保守、清掃及び車両の維持管理費であるため、指標は設定していません。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		99,625	104,957	135,963	127,903
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.1
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		0	0	0	800
総コスト(A+B)		99,625	104,957	135,963	128,703
指 標	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		道路管理に係る各施設の光熱水費、保守・清掃及び車両の維持管理費	道路管理に係る各施設の光熱水費、保守・清掃及び車両の維持管理費	道路管理に係る各施設の光熱水費、保守・清掃及び車両の維持管理費	道路管理に係る各施設の光熱水費、保守・清掃及び車両の維持管理費

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	現状維持
1次評価コメント	今後、業務を遂行する上で、不必要な施設(車輛含)の検討及び委託業務における仕様の見直しの有無を検討し、経費の縮減を図ることが必要。

【2次評価】

今後の事業の方向性	
2次評価コメント	

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01060	津田沼駅北口広場管理費負担金	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-999	その他	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) JR津田沼駅北口広場は、船橋市と習志野市との間で、管理協定を締結し、維持管理を行っている。これは、行政界割合に基づき、船橋市20%、習志野市80%の割合を基本とし、管理主体である習志野市へ、船橋市分20%を負担金として支出するものである。 (目標・計画) 管理協定に基づく負担金の支出であるため、負担率を活動指標としている。			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		2,636	3,277	2,748	3,332
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.1
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		0	0	0	800
総コスト(A+B)		2,636	3,277	2,748	4,132
指 標	船橋市負担率 (%)	目標値	20.0	20.0	20.0
		実績値	20.0	20.0	20.0
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		管理協定に基づき、船橋市20%、習志野市80%の割合を基本とし、管理主体である習志野市へ、船橋市が20%負担。	管理協定に基づき、船橋市20%、習志野市80%の割合を基本とし、管理主体である習志野市へ、船橋市が20%負担。	管理協定に基づき、船橋市20%、習志野市80%の割合を基本とし、管理主体である習志野市へ、船橋市が20%負担。	管理協定に基づき、船橋市20%、習志野市80%の割合を基本とし、管理主体である習志野市へ、船橋市が20%負担。

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	事業の方向性として現状維持としているが、船橋市域側へのエレベーター設置及び利用形態の殆どが船橋市民であることを踏まえ、今後、管理協定を見直す必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01062	道路管理費(政策経費分)	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-401-001	駅周辺地区の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 道路管理における修繕、手数料及び委託等に係る経費である。 ①JR船橋駅北口広場エスカレーター修繕 ②JR船橋駅北口広場総合改修 ③JR東船橋駅自由通路改修 ほか (目標・計画) 事業実績を計るため、「契約締結件数(件)」を活動指標としている。			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		17,100	54,512	53,126	257,761	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.4	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	3,200	
総コスト(A+B)		17,100	54,512	53,126	260,961	
指 標	契約締結件数 (件)	目標値	0.0	0.0	6.0	0.0
		実績値	0.0	10.0	6.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	10.0	6.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画					①実施 ②調査、設計 ③設計、着工 ④調査実施	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	見直しの余地あり
有効性	見直しの余地あり

今後の事業の方向性	効率・改善化
-----------	--------

1次評価 コメント	政策経費事業といった性質のため、必要な事業予算を計上しているが、他課と類似する業務について統合する必要がある。また、一方で他課と統合した事業について、市民の安全を最優先した場合、分離が必要と考える事業がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01063	道路台帳管理費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-999	その他	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	対象外	必需性	対象外
事業概要	<p>(事業内容) 道路台帳管理における諸経費である。 ・道路境界査定業務において、道路境界が確定した際に設置する原材料(杭、プレート、鋳)の購入。 ・消耗品費 ・静電プロッタ装置賃借料</p> <p>(目標・計画) 事業実績を計るため、「原材料支給件数(件)」を活動指標としている。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		2,033	2,849	3,095	1,729	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		2,833	3,649	3,895	2,529	
指 標	原材料支給件数 (件)	目標値	0.0	0.0	2,000.0	2,000.0
		実績値	1,486.0	1,981.0	2,308.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		原材料費 プロッタ賃借料 インク消耗品	原材料費 プロッタ賃借料 インク消耗品	原材料費 プロッタ賃借料 インク消耗品	原材料費 プロッタ賃借料 インク消耗品	

【1次評価】

妥当性	見直しの余地あり
効率性	見直しの余地あり
有効性	見直しの余地あり

今後の事業の方向性	効率・改善化
-----------	--------

1次評価 コメント	使用頻度がほとんどない機器については、他課との共有で十分である。 また、原材料においても在庫管理を徹底し、予算計上を行う必要がある。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01066	道路維持諸経費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 道路の除草及び側溝の清掃等、道路維持に係る諸経費である。 (目標・計画) 事業実績を計るため、「除草面積(m ²)」「汚泥回収・処分(立米)」を活動指標としている。			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		118,593	62,063	61,019	65,464	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		119,393	62,863	61,819	66,264	
指 標	除草面積(m ²)	目標値	0.0	0.0	30,000.0	35,000.0
		実績値	0.0	0.0	32,660.0	—
	汚泥回収・処分(立米)	目標値	0.0	0.0	250.0	250.0
		実績値	190.0	277.5	200.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		道路施設等における除草、樹木伐採、土砂撤去及び側溝の清掃。	道路施設等における除草、樹木伐採、土砂撤去及び側溝の清掃。	道路施設等における除草、樹木伐採、土砂撤去及び側溝の清掃。	道路施設等における除草、樹木伐採、土砂撤去及び側溝の清掃。	

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	見直しの余地あり
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	道路施設の管理において、除草及び清掃等は必要であり、継続性が求められる事業である。今後、改善を図るものとした場合、一般生活道路においては、地域住民が主体となり日常管理(除草・清掃)を行うことが望ましいと考える。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01068	道路補修修繕費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 交通量の増大による道路の破損及び掘削工事等による道路の傷みが進み、車両及び歩行者等の通行に支障をきたす箇所について緊急に補修・修繕し、安全の確保を図るための補修・修繕である。</p> <p>(目標・計画) 事業実績を計るため、「修繕件数(件)」を活動指標としている。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		162,225	149,708	149,885	150,000	
人 工	常勤職員	8.0	8.0	8.0	7.0	
	その他職員	2.0	1.0	1.0	0.5	
人件費(B)		68,000	66,000	66,000	57,000	
総コスト(A+B)		230,225	215,708	215,885	207,000	
指 標	修繕件数(件)	目標値	0.0	0.0	300.0	300.0
		実績値	269.0	295.0	301.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		道路の破損箇所について補修修繕を実施	道路の破損箇所について補修修繕を実施	道路の破損箇所について補修修繕を実施	道路の破損箇所について補修修繕を実施	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	効率・改善化
-----------	--------

1次評価 コメント	施設が増大する一方、財源に限りがあることを認識し、点での補修・修繕ではなく面での補修・修繕へ改善を図るなど効率化を踏まえた業務の改善が必要。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01069	道路標識整備費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-005	交通安全対策の推進	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 道路における安全確保のため、道路管理者が管理する狭隘箇所、カーブ及び交差点等の存在を運転者に認識させる目的で、警戒標識を設置すると共に、既存施設の適切な管理を行う。</p> <p>(目標・計画) 事業実績を計るため、「設置及び修繕件数(件)」を活動指標としている。</p>			
根拠法令等	道路標識、区画線及び道路標示に関する命令 他			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		14,881	1,138	1,199	1,200	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		15,681	1,938	1,999	2,000	
指 標	設置及び修繕件数(件)	目標値	0.0	0.0	10.0	15.0
		実績値	7.0	5.0	21.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		道路管理者が行う警戒標識の設置及び修繕	道路管理者が行う警戒標識の設置及び修繕	道路管理者が行う警戒標識の設置及び修繕	道路管理者が行う警戒標識の設置及び修繕	

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	見直しの余地あり
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	効率・改善化
-----------	--------

1次評価 コメント	道路管理者が設置する道路標識等において、案内標識、警戒標識、規制標識(幅・高さ・重量の制限をするもの)及び交差点名があるが、予算化しているのは、警戒標識及び警戒標識の中の通学路標識であり、道路ストック総点検後の修繕計画と併せて、事業の統合を行う必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01070	防護柵整備費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-005	交通安全対策の推進	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 既設道路における歩行空間の安全対策として、防護柵等の整備及び修繕を行う。</p> <p>(目標・計画) 事業実績を計るため、「設置及び修繕件数(件)」を活動指標としている。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		8,450	7,927	7,961	8,000	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		9,250	8,727	8,761	8,800	
指 標	設置及び修繕件数 (件)	目標値	0.0	0.0	50.0	50.0
		実績値	55.0	51.0	60.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		防護柵の設置及び修繕	防護柵の設置及び修繕	防護柵の設置及び修繕	防護柵の設置及び修繕	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	道路の付帯設備である防護柵については、歩行空間の安全確保に必要であり、今後においても事業を継続していく。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01071	道路反射鏡整備費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-005	交通安全対策の推進	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 道路管理者が管理する道路における見通しの悪い交差点及びカーブ等の安全対策としてカーブミラーを設置し、併せて既存施設の適切な管理を実施する。</p> <p>(目標・計画) 事業実績を計るため、「設置及び修繕件数(件)」を活動指標としている。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		11,556	13,901	15,897	18,300	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		12,356	14,701	16,697	19,100	
指 標	設置及び修繕件数 (件)	目標値	0.0	0.0	120.0	120.0
		実績値	94.0	129.0	123.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		カーブミラーの設置及び 修繕	カーブミラーの設置及び 修繕	カーブミラーの設置及び 修繕	カーブミラーの設置及び 修繕	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	効率・改善化
-----------	--------

1次評価 コメント	<p>道路交通の安全確保のため、カーブミラーの設置及び修繕は必要であるため、今後においても継続していく。併せて、設置基準を見直し私道への設置を実施していく。</p>
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

事業名	01072	通学路標識整備費		担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-005	交通安全対策の推進		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的	
事業概要	(事業内容) 市内小学校通学路の交通安全対策として、通学路標識の設置及び修繕を行う。 (目標・計画) 事業実績を計るため、「設置及び修繕件数(件)」を活動指標としている。				
根拠法令等					

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		421	1,378	1,187	1,400	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		1,221	2,178	1,987	2,200	
指 標	設置及び修繕件数(件)	目標値	0.0	0.0	5.0	5.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		通学路標識の設置及び修繕	通学路標識の設置及び修繕	通学路標識の設置及び修繕	通学路標識の設置及び修繕	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	事業概要から継続が必要な事業であるが、道路標識整備事業に統合すべきと考える。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01073	区画線整備費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-005	交通安全対策の推進	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 道路管理者が管理する既設道路における路側帯・中央線等の標示を常に明確にし、交通の安全を図る。 (目標・計画) 事業実績を計るため、「引き直しをした箇所数(箇所)」を活動指標としている。			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		4,684	7,235	7,172	7,300	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		5,484	8,035	7,972	8,100	
指 標	引き直しをした箇所数(箇所)	目標値	0.0	0.0	50.0	50.0
		実績値	50.0	70.0	59.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		路側帯及び中央線等の ひき直し	路側帯及び中央線等の ひき直し	路側帯及び中央線等の ひき直し	路側帯及び中央線等の ひき直し	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	道路交通の安全確保として視覚的な効果は重要であり、消えかかった区画線等の塗り直しは、安全対策の第一歩と考える。今後、道路財産の適切な管理と併せ事業を拡充していく必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01074	道路照明整備費	担当課	道路管理課 作成責任者 宮川 広
施策体系	005-301-005	交通安全対策の推進	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 夜間における交差点、信号機のない横断歩道及び見通しの悪いカーブ等に道路照明を設置及び設置替えをし、車両交通及び歩行者の安全を図る。</p> <p>(目標・計画) 事業実績を計るため、「設置工事件数(件)」を活動指標としている。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		2,761	3,691	4,849	7,890	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		3,561	4,491	5,649	8,690	
指 標	設置工事件数 (件)	目標値	0.0	0.0	8.0	8.0
		実績値	7.0	8.0	8.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		道路照明灯の設置及び 修繕	道路照明灯の設置及び 修繕	道路照明灯の設置及び 修繕	道路照明灯の設置及び 修繕	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	効率・改善化
-----------	--------

1次評価 コメント	道路ストック総点検の結果を踏まえ、今後、維持管理における修繕等の計画策定が必要であり、併せてLED化に向けての事業の見直しが必要。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01077	道路舗装維持費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 舗装版の劣化等により市民生活に影響を及ぼしている道路について舗装の打ち換え等を実施する。 (目標・計画) 年度予算に大きな影響を占める幹線1級の道路について、平成32年度に舗装版の寿命と考えられる修繕周期15年を目指している。 (指標)当初予算予定件数に対する工事実施件数を指標とする。 (指標の設定理由)振動等の要望件数に対応するため、事業規模ではなく工事実施件数を指標とし、市民への対応を図る。			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		288,066	373,877	469,428	600,000	
人 工	常勤職員	3.0	3.6	2.7	2.7	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		24,000	28,800	21,600	21,600	
総コスト(A+B)		312,066	402,677	491,028	621,600	
指 標	工事実施件数(件)	目標値	15.0	20.0	41.0	45.0
		実績値	10.0	22.0	45.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		・幹線1級 1600m 修繕周期 51年 ・幹線2級 740m 修繕周期 139年 ・一般市道 2002m 修繕周期 463年	・幹線1級 1868m 修繕周期 44年 ・幹線2級 1565m 修繕周期 66年 ・一般市道 2343m 修繕周期 415年	・幹線1級 2732m 修繕周期 30年 ・幹線2級 2653m 修繕周期 39年 ・一般市道 4641m 修繕周期 201年	・幹線1級 2837m 修繕周期 29年 ・幹線2級 1052m 修繕周期 99年 ・一般市道 4796m 修繕周期 195年	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	見直しの余地あり

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	予算を拡大し事業を執行しているが、まだまだ市民要望に対応できる状態ではない。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01078	道路排水維持費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 良好な生活環境を維持するため、老朽化や破損等により排水機能が低下した既存施設(U字溝、L字溝)やU字溝と路面の段差により交通に支障をきたした箇所の新設を行う。 (目標・計画) 他の道路維持事業との予算の配分を考え、出来る限り住民の要望に対応する。 (指標) 当初予算予定件数に対する工事実施件数を指標とする。 (指標の設定理由) 改修等の要望件数に対応するため、事業規模ではなく工事実施件数を指標とし、市民への対応を図る。			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		56,202	90,937	132,651	122,000	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	1.5	1.5	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	12,000	12,000	
総コスト(A+B)		56,202	90,937	144,651	134,000	
指 標	工事実施件数(件)	目標値	9.0	11.0	13.0	11.0
		実績値	7.0	12.0	17.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		排水整備延長 7地区 L=911m	排水整備延長 12地区 L=1734m	排水整備延長 17地区 L=1727m	排水整備予定 11地区 L=1655m	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	予算を拡大し事業を執行しているが、まだまだ市民要望に対応できる状態ではない。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01079	歩道維持費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 歩行者の安全な通行を確保するため、平板の破損、ガタツキ及び舗装の破損により、歩行者の通行に支障をきたしている歩道の修繕を行う。 (目標・計画) 他の道路維持事業との予算の配分を考え、出来る限り住民の要望に対応する。 (指標)当初予算予定件数に対する工事実施件数を指標とする。 (指標の設定理由)改修等の要望件数に対応するため、事業規模ではなく工事実施件数を指標とし、市民への対応を図る。			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		13,241	37,041	49,033	77,900	
人	常勤職員	0.0	0.0	1.0	1.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	8,000	8,000	
総コスト(A+B)		13,241	37,041	57,033	85,900	
指 標	工事実施件数(件)	目標値	2.0	2.0	5.0	6.0
		実績値	2.0	4.0	4.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		歩道整備延長 2件 195m	歩道整備延長 4件 495m	歩道整備延長 4件 685m	歩道整備予定 6件 735m	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	全体的には概ね適正に事業が進められているが、ますます予算を拡充することにより、計画的に修繕を行う必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01080	道路維持諸経費(政策経費)		担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持		会計種別	一般会計
事業類型	維持管理				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的	
事業概要	<p>(事業内容) 道路舗装維持において、舗装アセットマネジメントを構築し、計画的かつ効率的な予算措置を行う事により、トータルコストの縮減を図る。 (目標・計画) 平成26年度にアセットマネジメント基本計画を策定し、28年度より計画的な修繕に着手すべく、27年度に実施計画を策定する。 (指標)基本計画、詳細計画策定委託の予定件数に対する実施件数。 (指標の設定理由)計画に基づいた業務委託を執行しているかを把握する。</p>				
根拠法令等	道路法				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		23,583	1,880	3,024	7,806	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.4	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	3,200	
総コスト(A+B)		24,383	2,680	3,824	11,006	
指 標	基本計画及び詳細計画の策定数 (件)	目標値	1.0	1.0	1.0	
		実績値	1.0	1.0	1.0	
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		境界査定測量委託 1件 道路現況調査委託 1件	境界査定測量委託 1件 道路現況調査委託 1件	境界査定測量委託 2件 道路現況調査委託 1件	アセットマネジメント 基本計画策定 1件 境界査定測量委託 3件 道路現況調査委託 1件	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	適正な予算に対し計画通り、計画策定に向け事業を執行している。
--------------	--------------------------------

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01081	道路改良整備費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 市民の日常生活に密着した道路の利便性の向上及び、車輛交通の改善、渋滞の緩和及び歩行者の安全性を確保し、生活環境の向上を図るため、市道の排水施設の新設や道路線形の改良及び拡幅整備を行います。また、生活道路と幹線道路をつなぐ道路の新設を進めます。 (目標・計画) 道路改良工事の整備延長を年間1,200mの整備とする。 (指標の設定理由) 平成20年度道路改良整備実績1,161mを基準に設定した。			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		179,820	187,978	308,729	241,960	
人 工	常勤職員	2.0	2.0	2.0	2.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		16,000	16,000	16,000	16,000	
総コスト(A+B)		195,820	203,978	324,729	257,960	
指 標	道路改良工事の整備延長(1,200m)	目標値	0.0	0.0	1,200.0	1,200.0
		実績値	1,850.0	2,036.0	1,244.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		市道00-113号線、他19路線	市道78-027号線、他28路線	市道01-005号線、他21路線	市道00-071号線(都計道3・3・7号線)、他都計道3・3・7号線 事業費 87,000千円基本額 38,000千円国費 20,900千円	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価コメント	降雨時の路面排水の流出等、被害及び苦情がまだ多く寄せられている状態であることから、今後、事業の拡大についても検討の必要がある。
----------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01082	道路舗装整備費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 生活環境の向上及び車両交通の円滑化を図るため、認定道路及び認定外公道の未舗装路線を緊急性の高い路線から舗装整備を行います。</p> <p>(目標・計画) 事業の実績を計るため、「要望に基づく未舗装箇所の施工の完了数(件)」を指標としています。</p> <p>(指標の設定理由) 舗装等の要望件数に対応するため、事業規模ではなく施工の完了件数を指標とし、市民への対応を図る。</p>			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		6,016	14,038	24,407	21,600	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.3	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	2,400	
総コスト(A+B)		6,016	14,038	24,407	24,000	
指 標	要望に基づく未舗装箇所の施工の完了数(件)	目標値	0.0	0.0	3.0	4.0
		実績値	0.0	0.0	3.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		市道78-018号線、他3 路線	市道50-536号線、他4 路線	市道14-110号線、他5 路線	市道50-059号線、他3 路線	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	未舗装区域の新設舗装整備は、地区の生活環境の向上及び車両交通の円滑化を図ることが出来ている。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01083	道路整備諸経費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 道路改良整備及び道路舗装整備を実施するために必要な、測量・設計業務委託等の諸経費です。 (目標・計画) 事業の実績を計るため、「計画に基づく測量・設計の完了数(件)」を指標としています。 (指標の設定理由) 計画に基づいた業務委託を執行しているかを把握する。			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		11,533	18,323	31,415	43,160	
人	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	0	
総コスト(A+B)		11,533	18,323	31,415	43,160	
指 標	計画に基づく測量・設計の完了数 (件)	目標値	0.0	0.0	16.0	22.0
		実績値	0.0	0.0	20.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		測量業務委託 13路線 設計業務委託 4路線	測量業務委託 12路線 設計業務委託 1路線	測量業務委託 20路線 設計業務委託 6路線	測量業務委託 18路線 設計業務委託 4路線	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	道路拡幅や道路排水整備に伴う測量及び設計業務等は、外部に委託し、効率的に進める必要がある。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01084	道路用地購入費		担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的	
事業概要	(業務内容) 道路拡幅等の整備を推進するため、市道の拡幅用地や隅切り用地の取得及び物件補償を行うものです。 (目標・計画) 事業の実績を計るため、「計画に基づく用地購入の完了数(件)」を指標としています。 (指標の設定理由) 計画に基づいた用地購入を執行しているかを把握する。				
根拠法令等					

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		179,158	222,455	181,160	265,820	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	0	
総コスト(A+B)		179,158	222,455	181,160	265,820	
指 標	計画に基づく用地購入の完了数 (件)	目標値	0.0	0.0	13.0	24.0
		実績値	0.0	0.0	4.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		用地買収 物損補償	用地買収 物損補償	用地買収 物損補償	用地買収 物損補償	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	事業の進捗は、所有者の意向に左右されるが、概ね計画どおりに事業を進めている。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01087	橋りょう維持費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	002-301-003	都市防災機能の向上	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容、目標・計画) 市内の跨線橋、高速道路並びに緊急輸送道路等の重要橋りょう17橋について耐震補強工事を随時実施していく。当該事業については、平成15年度に着手し、平成31年度完了を目指している。また、長寿命化修繕計画の必要な全233橋について、平成25年度に修繕計画を公表し同時に修繕工事に着手する。当該事業については、平成25年度着手以降、平成37年度まで初期投資を行うことにより、それ以降予算が平滑化され、予算の縮減が図れる。</p> <p>(指標、設定理由) 第三者被害を防止するため、計画に基づき市内重要橋梁の耐震化を図る。耐震化予定橋梁に対する工事実施件数を指標とする。</p>			
根拠法令等	道路橋示方書。国交省事務連絡「橋梁耐震3箇年プログラム」等			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		220,699	283,576	199,483	607,265
人	常勤職員	0.6	1.2	1.2	1.4
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		4,800	9,600	9,600	11,200
総コスト(A+B)		225,499	293,176	209,083	618,465
指 標	市内重要橋りょうの耐震補強完了 橋りょう数(件)	目標値	2.0	1.0	1.0
		実績値	2.0	1.0	0.0
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		海神こ線橋耐震補強工事。 高根こ線人道橋耐震補強工事。 長寿命化修繕計画橋梁点検。	高根こ線橋耐震補強工事。 西船跨線橋耐震補強工事。 長寿命化修繕計画策定。	新港大橋耐震補強工事。 西船跨線橋耐震補強工事。 長寿命化修繕計画公表。 長寿命化修繕工事。 (浜田橋・向田橋)	新港大橋耐震補強工事。 西船跨線橋耐震補強工事。 長寿命化修繕工事。 (下ノ木跨線橋等)

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	耐震補強事業については計画通りに進められているが、これに橋梁長寿命化修繕計画が加わることで予算の拡充が一層必要となり事業量も増大する。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01088	歩道整備費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-001	歩行者空間の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するために、歩道整備や踏切道拡幅整備、バスベイ整備、自転車走行空間整備、駅前広場整備を進めます。市民要望に基づき、事業の進捗を図ります。</p> <p>(目標・計画) 整備目標値 H32年までに270kmの歩道の整備及び歩道の段差解消等バリアフリー化を行う。年間 1,000mの整備を目標にする。</p> <p>設定理由 平成21年度歩道整備実績778mを基準に、20%アップで設定した。</p> <p>平成26年度より、歩道整備は、「人にやさしい歩道整備事業」に、それ以外の整備は、「歩道環境整備」へと二つの事業に分かれます。</p>			
根拠法令等	道路法、 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー新法)、踏切道改良促進法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		399,307	378,979	363,596	0	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	3.0	0.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.5	0.0	
人件費(B)		0	0	25,000	0	
総コスト(A+B)		399,307	378,979	388,596	0	
指 標		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	歩道の延長	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	1,000.0	1,000.0	1,000.0	0.0
		実績値	715.0	1,025.0	1,692.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		滝不動1号踏切拡幅整備 北習志野駅ペDESTリアンデッキ整備 医療センターバスベイ整備	三咲4号踏切拡幅整備 北本町地区自転車レーン整備	大神宮下第3号踏切拡幅整備 東船橋駅南口広場整備 自転車走行環境基礎調査 JR船橋駅北口広場EV基本設計	平成26年度より、歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するための歩道整備は、「人にやさしい歩道整備事業」と「歩道環境整備事業」へと二つの事業に分かれます。	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	高齢者のみならず、障害のある人もない人も全ての市民が安心して歩ける歩道整備をより積極的に推進するため、「人にやさしい歩道整備事業」として別枠で取り組む。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01089	コミュニティ道路整備費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-001	歩行者空間の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 交通事故の減少のために、地域住民や警察と連携して策定する「ゾーン30整備計画」にもとづいた整備を進めます。また、歩行者が安全に歩ける空間や緊急時における避難路を確保するために、コミュニティ道路の整備を進めます。 (目標・計画) 平成28年度末までのゾーン30整備目標 市内 15地区 設定理由 千葉県警察本部の平成28年度までの整備目標県内142地区に合わせ、所轄警察と協議して設定した。			
根拠法令等	道路法、平成23年9月20日付け警察庁「ゾーン30の推進について(通達)」			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		56,280	209,864	93,428	40,600	
人	常勤職員	0.0	0.0	1.0	1.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.6	0.6	
人件費(B)		0	0	9,200	9,200	
総コスト(A+B)		56,280	209,864	102,628	49,800	
指 標	ゾーン30の整備箇所数	目標値	1.0	5.0	3.0	
		実績値	0.0	1.0	5.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		本中山地区あんしん歩行エリア整備 葛飾川上部歩行者専用通路整備 中山法華経寺参道電線共同溝整備	本中山地区あんしん歩行エリア整備 本中山地区ゾーン30整備 中山法華経寺参道電線共同溝整備	中山法華経寺参道電線共同溝整備 ゾーン30(坪井地区)生活道路安全対策整備	ゾーン30(湊町地区、本中山5丁目地区、坪井地区)生活道路安全対策整備 ゾーン30供用後安全対策 本中山地区あんしん歩行エリア・効果検証	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価コメント	平成25年度末の本市の進捗率は、40%であり、全国平均35.4%を上回っている。 平成26年度、本中山地区ゾーン30の効果検証を実施中であり、その結果を今後の整備に生かす必要がある。
----------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01090	交差点整備費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-004	道路環境の整備・維持	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 歩行者の安全確保、車両交通の円滑化、良好な生活環境の維持を図るために、交差点の改良を行います。</p> <p>(目標・計画) 平成32年度末までの交差点改良事業整備完了目標 48箇所 設定理由 市内幹線道路交差点で交通量調査及び交通解析を行った結果、改良整備が必要な交差点を45箇所とした。その他の主要な交差点においても交通環境の変化により、改良整備が必要な交差点を24箇所とした。平成32年度まで早期改良が必要な交差点8箇所を目標として設定した。</p>			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		1,512	32,753	33,331	25,200	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	1.0	1.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	8,000	8,000	
総コスト(A+B)		1,512	32,753	41,331	33,200	
指 標	交差点改良工事完了箇所数(箇所)	目標値	0.0	1.0	1.0	1.0
		実績値	0.0	1.0	1.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		滝不動駅入口交差点・用地買収 大宮神社交差点・設計	滝不動駅入口交差点・用地買収 大宮神社交差点整備 薬円台交差点ほか基本設計	薬円台交差点・用地測量 飯山満町3丁目ガソリンスタンド前交差点・用地測量、一部整備 小学校入口交差点・用地測量 滝不動駅入口交差点整備	小学校入口交差点・実施設計	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	滝不動駅入口交差点については、整備開始時に設定した整備完了年度で事業終了予定。交差点改良事業は、用地買収や建物補償等が伴い、事業費が大きくなるため、国の補助事業を活用して事業を進める必要があり、期間が長くなる。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01091	通園通学路整備費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-005	交通安全対策の推進	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 通学する児童の安全確保のため、通学路の安全対策整備を進めます。特に歩道が設置されていない通学路の路肩部にカラー舗装(緑)を行います。 「船橋市通学路交通安全プログラム」によって要求された安全対策を整備していきます。</p> <p>(目標・計画) 安全対策が必要な小学校の数を目標として設定した。</p>			
根拠法令等	道路法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		19,365	5,375	39,168	12,000	
人	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.5	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	4,000	
総コスト(A+B)		19,365	5,375	39,168	16,000	
指 標	要安全対策小学校数	目標値	0.0	0.0	17.0	7.0
		実績値	0.0	0.0	17.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画				通園通学路整備(市場小ほか16小学校) 通学路安全対策(大穴北小、小栗原小)	通園通学路整備(整備箇所未定) 通学路安全対策(大穴北小、小栗原小)	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価コメント	通学路の安全対策は、全国的に進められており、今後も継続的に行っていく必要がある。
----------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01092	交通安全施設用地購入費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-001	歩行者空間の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 交通渋滞対策のため交差点の改良及び歩道狭隘部の拡幅並びにバスベイ設置のために用地買収を行い、また、物件の補償を行うものであります。</p> <p>(目標・計画) 計画に基づく用地購入の完了を目標として設定した。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		30,262	176,297	95,525	100,790	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.5	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	4,000	
総コスト(A+B)		30,262	176,297	95,525	104,790	
指 標	計画に基づく用地買収・補償の完了	目標値	0.0	0.0	1.0	1.0
		実績値	0.0	0.0	1.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画				交差点用地 1交差点 歩道用地 3路線 踏切拡幅用地 2踏切 歩道用地に伴う補償 2路線	歩道用地 3路線 踏切拡幅用地 2踏切 歩道用地に伴う補償 3路線	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	事業の進捗は、所有者の意向に左右されるが、整備工事開始に影響が出ないように計画どおりに事業を進めている。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01094	交通安全施設整備諸経費	担当課	道路建設課 作成責任者 中村 利雄
施策体系	005-301-001	歩行者空間の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 交通安全施設整備に伴う測量・設計業務委託等の諸経費であります。 (目標・計画) 計画に基づく設計の完了を目標として設定した。			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		30,362	17,872	41,891	45,500	
人	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.5	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	4,000	
総コスト(A+B)		30,362	17,872	41,891	49,500	
指 標	計画に基づく測量・設計の完了	目標値	0.0	0.0	1.0	1.0
		実績値	0.0	0.0	1.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画				交差点測量 1交差点 歩道測量 7路線 交差点設計 1交差点 歩道設計 5路線 駅前広場設計 1広場	交差点測量 1交差点 歩道測量 3路線 交差点設計 1交差点 歩道設計 2路線 駅前広場設計 2広場	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	歩道整備事業、交差点整備事業の測量・設計は外部に委託し、効率的に進める必要がある。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01096	都市計画道路建設費		担当課	街路課 作成責任者 嶋田 幸雄
施策体系	005-301-003	道路ネットワークの構築		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的	
事業概要	<p>(事業内容) 都市計画道路のネットワークを形成し、交通の円滑化や都市環境及び防災機能の向上を推進していくことを目的として、都市計画道路3・3・7号線他7路線についての道路整備を行うものです。</p> <p>(目標・計画) 都市計画道路(幹線道路)が構築されていないため、地区外からの通過車両が生活道路に流入し、駅周辺等で慢性的な渋滞が発生する要因となっており、歩行者等の安全が確保されていない。これらの状況を早急に改善するため、整備を推進する必要がある。</p> <p>平成32年度までに都市計画道路整備率を45%まで向上させることを目標に事業を実施する。</p>				
根拠法令等	都市計画法、道路法				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		668,080	127,109	173,111	121,200	
人工	常勤職員	7.0	6.0	6.0	6.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		56,000	48,000	48,000	48,000	
総コスト(A+B)		724,080	175,109	221,111	169,200	
指標	都市計画道路の整備延長(m)	目標値	298.0	243.0	405.0	534.0
		実績値	383.0	457.0	372.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか6路線、市道00-013号線ほか2路線 供用開始:都計道3・3・7号線(本町通り~都計道3・4・13号線)	事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか6路線、市道00-013号線ほか2路線 新規路線:都計道3・3・7号線(東海神)、3・4・20号線	事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか8路線、市道00-013号線ほか2路線 新規路線:都計道3・4・25号線(ガスタンク・近隣公園)	事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか10路線、市道00-013号線ほか2路線 新規路線:都計道3・5・31号線	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	見直しの余地あり
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価コメント	現在(H26.3)の都市計画道路整備率は43.8%である。今後も早期に事業効果が発現するような進行管理を行い、整備を推進していく。また、長期間進捗が図れない箇所は、収用も視野に入れ事業の推進に努めていく。
----------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01097	都市計画道路用地購入費		担当課	街路課 作成責任者 嶋田 幸雄
施策体系	005-301-003	道路ネットワークの構築		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的	
事業概要	<p>(事業内容) 都市計画道路のネットワークを形成し、交通の円滑化や都市環境及び防災機能の向上を推進していくことを目的として、都市計画道路3・3・7号線他7路線についての事業に必要な用地を取得するものです。</p> <p>(目標・計画) 都市計画道路(幹線道路)が構築されていないため、地区外からの通過車両が生活道路に流入し、駅周辺等で慢性的な渋滞が発生する要因となっており、歩行者等の安全が確保されていない。これらの状況を早急に改善するため、整備を推進する必要がある。</p> <p>平成32年度までに都市計画道路整備率を45%まで向上させることを目標に事業を実施する。</p>				
根拠法令等	都市計画法、道路法、土地収用法				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		268,523	275,245	532,746	695,650	
人	常勤職員	1.5	1.5	4.0	4.0	
	その他職員	4.0	4.5	0.0	0.0	
人件費(B)		20,000	21,000	32,000	32,000	
総コスト(A+B)		288,523	296,245	564,746	727,650	
指 標	都市計画道路用地取得面積(m ²)	目標値	1,807.0	2,593.5	3,029.2	3,301.0
		実績値	1,887.5	1,770.4	3,447.8	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか6路線、市道00-013号線ほか2路線 供用開始:都計道3・3・7号線(本町通り~都計道3・4・13号線)	事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか6路線、市道00-013号線ほか2路線 新規路線:都計道3・3・7号線(東海神)、3・4・20号線	事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか8路線、市道00-013号線ほか2路線 新規路線:都計道3・4・25号線(ガスタンク・近隣公園)	事業中路線:都計道3・3・7号線、3・4・25号線ほか10路線、市道00-013号線ほか2路線 新規路線:都計道3・5・31号線	

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	見直しの余地あり
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	現在(H26.3)の都市計画道路整備率は43.8%である。今後も早期に事業効果が発現するような進行管理を行い、整備を推進していく。また、長期間進捗が図れない箇所は、収用も視野に入れ事業の推進に努めていく。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01100	地方土地開発公社諸経費	担当課	街路課 作成責任者 嶋田 幸雄
施策体系	005-301-003	道路ネットワークの構築	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	対象外	必需性	対象外
事業概要	<p>(事業内容) 都市計画道路整備を実施するための用地を先行取得するのに必要な、不動産鑑定手数料、物件調査業務委託等の諸経費です。</p> <p>(目標・計画) 都市計画道路(幹線道路)が構築されていないため、地区外からの通過車両が生活道路に流入し、駅周辺等で慢性的な渋滞が発生する要因となっており、歩行者等の安全が確保されていない。これらの状況を早急に改善するため、整備を推進する必要がある。 平成32年度までに都市計画道路整備率を45%まで向上させることを目標に事業を実施する。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		5,807	10,296	17,364	25,648
人 工	常勤職員	0.2	0.2	0.2	0.0
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		1,600	1,600	1,600	0
総コスト(A+B)		7,407	11,896	18,964	25,648
指 標	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画			役務費 (不動産鑑定手数料)4 件 委託料 (物件調査業務委託)4 件 (用地測量業務委託)2 件	需用費(印紙代)8件 役務費 (登記手数料)4件 (不動産鑑定手数料)14 件 委託料 (物件調査業務委託)8 件 (用地測量業務委託)3 件	需用費(印紙代)9件 役務費 (登記手数料)9件 (不動産鑑定手数料)8 件 委託料 (物件調査業務委託)6 件 (用地測量業務委託)6 件

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	都市計画道路の整備推進に必要不可欠な事業であり、地権者との早期合意形成ができることにより概ね適正に施行されている。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01101	都市計画道路整備諸経費	担当課	街路課 作成責任者 嶋田 幸雄
施策体系	005-301-003	道路ネットワークの構築	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	対象外	必需性	対象外
事業概要	<p>(事業内容) 都市計画道路整備を実施するために必要な、不動産鑑定手数料、物件調査業務委託、事業地管理作業等の諸経費です。</p> <p>(目標・計画) 都市計画道路(幹線道路)が構築されていないため、地区外からの通過車両が生活道路に流入し、駅周辺等で慢性的な渋滞が発生する要因となっており、歩行者等の安全が確保されていない。これらの状況を早急に改善するため、整備を推進する必要がある。 平成32年度までに都市計画道路整備率を45%まで向上させることを目標に事業を実施する。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		62,673	92,961	84,948	77,418
人 工	常勤職員	0.3	0.3	0.3	0.0
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		2,400	2,400	2,400	0
総コスト(A+B)		65,073	95,361	87,348	77,418
指 標	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画			需用費(印紙代)37件 役務費 (不動産鑑定手数料 等)197件 委託料 (物件調査業務委託等) 59件 使用料および賃借料 (土地借上料)1件 原材料(原材料)1式	需用費(印紙代)41件 役務費 (不動産鑑定手数料 等)208件 委託料 (物件調査業務委託等) 44件 使用料および賃借料 (土地借上料)1件 原材料(原材料)1式	需用費(印紙代)50件 役務費 (不動産鑑定手数料 等)145件 委託料 (物件調査業務委託等) 62件 使用料および賃借料 (土地借上料)1件 原材料(原材料)1式

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	都市計画道路の整備推進に必要不可欠な事業であり、概ね適正に施行されている。
--------------	---------------------------------------

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--